

ICTアクセシビリティ アドバイザー 認定試験

社会的背景	<ul style="list-style-type: none">・少子超高齢社会での労働人口減、社会保障負担の増大・Society5.0に向けたデジタルトランスフォーメーションの進行・急激なデジタル化におけるICTサービス利用の困難者との情報格差・多様性の認識拡大と障害観の変革・製品・サービスのユニバーサルデザインの必要性の高まり		
課題	<ul style="list-style-type: none">・障害を自分ごととして捉えることができない・標準アクセシビリティ機能の認知度の低さ・支援技術を学ぶ場がない・多様な学びの手段が必要	目的	障害のある人のニーズをつかみサービスとテクノロジーをコーディネートして提案するスキルを持っている人材を育成する。ためにそのスキルを認定し社会に位置付けていく
試験対象	<ul style="list-style-type: none">・障害の理解・テクノロジーの理解・各OSの標準アクセシビリティ・情報アクセシビリティ・障害別の特性と支援技術の適合・公的サービス・個人情報保護	教材	・公式テキスト（墨字/デジタル） ・e-Learning（ATA研修） ・各OSメーカーのアクセシビリティWeb ・その他推奨書籍やWebサイト

